

1. 建物概要

建物名称	大栄産業株式会社 白須賀工場新築工事	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5	      ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	      がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.3	/5	      ふつつ 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	      がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上  ふつつ 3 点以上  がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.2
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫LGS使用している。 ⑬発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率が88%。	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.8
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.3
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高:3.9m以上。 ⑲0.1≤[壁長さ比率]<0.3	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱/⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.5
	■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。	Q-3 1 2 3 3.2	⑥ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築)

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版 評価版

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	大榮産業株式会社 白須賀工場新築工事	階数	地上2F	
建設地	静岡県湖西市白須賀字宿北3985番 689、3985番756、3985番757、3985番951、3985番3160、3985番 3161、3985番3162	構造	S造	
用途地域	用途地域指定なし・防火地域法指定なし	平均居住人員	60 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2025年8月20日	
敷地面積	6,675 m ²	作成者	百合山浩寿	
建築面積	3,446 m ²	確認日		
延床面積	6,263 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.8 ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.7		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.9		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.4 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE評価(2021年版)による評価結果です。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 評価対象外。	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 0.1≦ [壁長さ比率] <0.3 床荷重:15000N/m ²	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が88%。 燃焼機器を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される